

## 平成30年度 県立佐和高等学校自己評価表

No. 1

| 目指す学校像  | 校訓「君の心に聴け」を基盤とした学校づくり   |  |      |               |
|---|---|--|------|---------------|
|   | (1) 平和と社会の正義を重んじ、誠実で自主的な実践力のある人間の育成<br>(2) 人格の陶冶と学力の向上に努め、真理を求める創造性豊かな人間の育成<br>(3) 文学や芸術を愛し、情操豊かな幅広い教養を身に付けた人間の育成<br>(4) 国家や郷土を愛するとともに、自他を敬愛し、協調と連帯の精神に富む人間の育成<br>(5) 心身の錬磨に努め、強靱な体力と忍耐力を備えた人間の育成 |  |      |               |
| 昨年度の成果と課題   | 重点項目  | 重点目標   | 達成状況 |               |
| 校訓「君の心に聴け」のもと、生徒一人一人の自主・自立を促しながら、さらなる学力向上と進路希望の実現を目指した。進学希望者及び就職希望者の進路実現は概ね達成でき、国立大学へ受験での合格者も出す事ができた。今後は、国公立大学や県外私立大学への進学者数を更に増やすことが課題である。<br>生徒一人一人に目を配り、一貫した丁寧な指導を行っており、指導件数はきわめて少ないものとなった。今後とも問題行動の早期発見・未然防止に努め、情報モラルの徹底やいじめ防止に取り組んでいく。<br>特色ある学校づくり推進事業により、心の教育と進路指導の充実を目指し、コミュニケーション能力の育成に努め、地域や異世代との交流を図っている。ボランティア活動が本校の特色として理解を得てきている。<br>その反面、なかにはコミュニケーションをとることが難しい生徒や、特別支援を必要とする生徒も入学してきており、生徒一人一人さらに充実させる必要がある。 | 家庭学習の定着と授業改善の取り組みにより、「分かる授業」を展開し、言語活動や探求的な学習活動の推進を図り、基礎・基本の定着と学力の更なる向上を目指す。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員一人一人が生徒に適した授業内容を精選し、指導方法を工夫する。教職員がアクティブラーニングの視点から組織的に指導法の研究を重ね、「分かる授業」を展開する。</li> <li>生徒が主体的・対話的で深い学びが実現できるように、授業改善を推進する。</li> <li>予習復習等を通し生徒の家庭学習時間を増やしていくよう指導する。</li> </ul>  |      |               |
|   | 生徒一人一人の自己実現を目指し、生徒の実態に応じた細やかな進路指導を行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部、学習指導部、各学年の連携を深め組織的な進路指導体制を構築する。</li> <li>進路ガイダンス・進路相談等を適宜実施し、個々に応じたキャリア教育を行う。</li> <li>進学希望者に対する指導の充実を図り、特に大学への進学に力を入れる。</li> <li>就職希望者への早期対応。早期に進路意識をしっかりと身に付ける指導をする。</li> </ul>   |      |               |
|   | 体験活動・ボランティア活動等を通して「心の教育」の充実を図るとともに、生徒個人に応じたきめ細やかな生徒指導を行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員全体で、共通認識を持ち、一貫した丁寧な指導を行う。</li> <li>望ましい基本的生活習慣および社会的生活習慣の確立に向けて、高校生としてのマナー・社会のルールの遵守を指導する。挨拶・身だしなみ等の指導を継続する。</li> <li>生徒一人一人に目を配り、いじめを防止し、体罰による指導を排除する。</li> <li>問題行動の早期発見・未然防止に努める。</li> <li>体験活動・ボランティア活動を本校の特色として位置付け、様々な活動・体験を通して、他者理解・思いやりの心の育成に努める。</li> </ul> |      |               |
|   | 特別活動の充実・部活動の活性化を推進し、生徒自らが輝く学校づくりに努める。<br>地域・保護者との交流や連携を図り、情報を公開し学校の更なる活性化に努める。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別活動部を中心に学校全体で、学校行事、部活動、ボランティア等に取り組み、学校の活性化を図る。</li> <li>H R 活動、生徒会活動を通し、協調と連帯の精神を育む。</li> <li>地域・保護者・異世代との交流を深め、コミュニケーション能力の育成を図る。</li> <li>P T A 行事のさらなる内容充実を目指し、参加率の向上を図る。</li> </ul>  |      |               |
| 評価項目  | 具体的目標   | 具体的方策  | 評価   | 次年度(学期)への主な課題 |
| 教科  | 豊かな人間として生きるための国語力の向上  | 授業の内容を充実させ、様々なものの見方、考え方、感じ方を知り、判断力及び幅広い人間性の育成を図る。  |      |               |
|   | 自己学習能力の向上   | 家庭学習(予習・復習)の習慣化を図る。  |      |               |
|   | 基礎・基本の充実  | 週1回を目安に漢字テストを実施し、常用漢字の学習の充実を図る。<br>国語辞典、古語辞典、国語便覧を活用する。  |      |               |
|   | 進路実現のための対策  | 課外指導等を実施し、実力の養成を図る。<br>漢字検定試験を年3回実施し、資格取得を奨励する。  |      |               |

| 評価項目                     | 具体的目標                 | 具体的方策   | 評価   | 次年度(学期)への主な課題   |  |
|--------------------------|-----------------------|---|--|---|--|
| 教<br>育                   | 地<br>歴<br>・<br>公<br>民 | 基礎学力の充実   | 中学校での既習内容の発展的理解を目指すとともに、小テストの実施や視聴覚教材を活用することによって、高校の地歴・公民教育に必要な基礎的知識の定着を図る。  |   |  |
|                          |                       | 理解しやすい授業の実現   | 授業内容を検討するとともに教材を精選し、指導方法の向上の実現を図る。   |   |  |
|                          |                       | 自主的学習態度の養成  | 生徒が自ら学習し、理解し、学ぶことの喜びを実感できるような授業形態を工夫する。  |   |  |
|                          | 数<br>学                | 基礎学力の充実   | 教科書準拠の問題集を活用し、問題演習を通して基礎・基本の定着を図る。<br>予習・復習が行える課題等を工夫して、家庭学習の習慣化を図る。<br>成績不振生徒に対する補習を行う。   |   |  |
|                          |                       | 実力の養成   | ICTなどを活用したアクティブラーニングを授業に取り入れ、実力の養成を図る。<br>進路に応じた課外授業を行う。   |   |  |
|                          |                       |   | ICTなどを活用し、興味・関心をひく授業の工夫とわかる授業の展開を心がける。<br>観察や実験を5回以上取り入れるなど、直接ものにふれる機会を増やす。<br>日常生活での科学の役割や地球環境とのかかわりを重視して指導を行う。<br>科学的な考え方、表現や発表する力を養う。 |   |  |
|                          | 理<br>科                | 進路実現のための指導  | 小テストや課題による学習の理解度・到達度を確認するとともに、宿題など家庭学習を定着させて、基礎学力の向上に努める。<br>課外等で問題の解決法などをきめ細かく指導する。   |   |  |
|                          |                       | 保<br>健<br>・<br>体<br>育   | 基本的生活習慣の確立   | 始業時間遵守や授業参加の大切さを理解させ、欠席・遅刻・見学をなくす。<br>体育にふさわしい挨拶や返事、身なりがきちんとできるようにする。 |  |
|                          | 生涯運動の基礎確立             |   | 技術上達のための工夫をさせることや、様々な種目の特性を理解させて楽しさを体験させることにより、生涯にわたり運動に親しめるようにさせる。  |   |  |
|                          | 体力の向上                 |   | 効果的な体づくり運動を取り入れ、年間を通して体力の向上を図る。  |   |  |
|                          | 音<br>楽                | 鑑賞及び表現の能力の向上  | 生徒の実態に応じた教材を精選し、多様な活動を経験させる。表現の中で、言語活動を充実させる。  |   |  |
|                          |                       | 豊かな情操の涵養  | 様々な音楽に触れる機会を設け、文化的背景等についても理解させる。   |   |  |
|                          | 美<br>術                | 美術文化への理解を深める  | 作品を生み出す背景にある文化や、それを生み出してきた人間の心を理解させる。<br>世界の現代美術や我が国の伝統や文化について関心を持つ態度を育てる。   |   |  |
|                          |                       | 美的体験の充実   | 様々な技法を体験し、作品について互いに批評し合う活動を取り入れるようにする。   |   |  |
|                          |                       | 確かな学力の養成  | 基本的問題を数多く行い、基礎力の定着を図る。<br>予習・復習のための補助教材、プリント等を活用し、家庭学習の習慣化を図る。   |   |  |
|                          | 英<br>語                | 大学入学共通テストや民間テストへの対応   | speakingを含んだ民間テストを全学年で段階的に実施し、大学入学共通テストや4技能試験に対応した学力の習得を目指す。   |   |  |
|                          |                       | 家<br>庭  | 実験・実習時間の確保   | 確かな知識・技術を習得させるために、多くの実験・実習を実施する。                                      |  |
|                          | 生徒の実態に応じた指導           |   | 生徒の実態に応じた個別指導を充実させ、生徒全体の生活技術の向上につなげる。  |   |  |
|                          | 豊かな心と実践的な態度の育成        |   | グループ学習やホームプロジェクト等の実践的な活動を多く実施することで、よりよく生きるための豊かな心を育成し、主体的に行動する力を身につけさせる。   |   |  |
|                          | 情<br>報                | 情報に関する知識と技術の習得  | 実習を年間授業時間の5分の2以上行うことにより、情報機器の基礎的な知識と技能を修得させる。  |   |  |
| 情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度の育成 |                       | 多くの情報の中から、自分に必要な情報を適切に収集、処理し、それを発信することができるようにする。<br>情報の受発信者としての法令遵守およびモラルとネチケットに気を付けられるよう、情報社会の一員としての自覚をはぐくむ。 |  |   |  |
|                          |                       | コミュニケーション能力の習得  | 実習時に相互に教えあったり、プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力の充実をはかる。   |   |  |

| 評価項目  | 具体的目標                            | 具体的方策   | 評価 | 次年度(学期)への主な課題 |
|-------|----------------------------------|---|----|---------------|
| 教務部   | 学校成績評価内規の改正                      | 観点別評価を利用する方法をまとめる。  |    |               |
|       | 公務量の適正化                          | 出張時の授業の振り替えの目安を検討する。  |    |               |
|       | 魅力ある学校行事の実現                      | 他の校務分掌や各学年及び教科と連携をとり、反省を生かした年間行事予定を作成する。  |    |               |
|       | 広報活動の充実                          | 佐和高Webページコンテンツの充実と携帯サイトの積極的な活用を図る。学校説明会を実施し、その他の見学希望にも積極的に対応する。   |    |               |
|       | 情報化の推進                           | 統合型公務支援システムを運用し、円滑な成績処理と指導要録の作成を進める。ネットワーク管理者と連携し、定期的にサーバーの保守点検を実施する。授業や校務に必要なアプリケーション・ソフト及びハードウェアを整備する。  |    |               |
|       | 備品・設備の充実                         | 定期的に文具や教務用具の点検及び補充を行う。職員室や印刷室等の備品等の整理及び整備を行う。   |    |               |
| 学習指導部 | 生徒の主体的な学習態度の涵養                   | 学習目標を明確にするとともに、主体的に学習する態度を育てる。シラバスを作成し、オリエンテーションや年度始めの授業などで活用する。  |    |               |
|       | 基礎学力の向上                          | 授業以外の学習時間が増えるように、課題や小テスト、英検・漢検等を利用する。生徒の進路希望に応じた課外授業や、外部講師招聘による学習セミナーを実施する。3年間を見通した校外模試の企画立案をする。  |    |               |
|       | 職員・他の分掌との連携を図る                   | 図書部・進路指導部と連携し、各種資料の充実を図る。学習指導に関する各種情報及びノウハウの蓄積と共有化に努める。   |    |               |
|       | 「学習に関する調査」の活用                    | 「学習に関する調査」によって生徒の実態を把握し、共通理解を目指す。「学習に関する調査」の結果を分析、提示することによって、改善の端緒を作る。  |    |               |
|       | 3年間を見通した進路指導体制の確立                | 学習指導部や各学年・各教科とも連携し、学力向上を伴った進路希望の実現に向けて努力する。   |    |               |
| 進路指導部 | LHRや総合的な学習の時間における「進路指導に関する項目」の充実 | 各学年の学級担任と連携し、指導計画の提案や指導に必要な情報や進路資料の提供等を行う。  |    |               |
|       | 「進路の手引」の充実と活用                    | 生徒の実態に即した「進路の手引」を作成し、LHR等において活用の仕方等を指導する。   |    |               |
|       | 進路相談の充実、進路指導室の活用の推進              | 昼休みと放課後における進路指導室の教員常駐化を実施し、生徒の進路相談や資料の閲覧に応じる。   |    |               |
|       | 外部機関(大学,短大,専門学校,企業等)との連携         | 看護体験,各種ボランティア,オープンキャンパス,進路説明会,公務員対策講座等へ早い時期から積極的な参加を促す。   |    |               |
|       | 基本的な生活習慣及び社会的な生活習慣の確立            | 登校時に、校紀委員とともに立哨指導を行い、あいさつの励行を図る。身だしなみをきちんとするために、毎日の指導を始め、学期初めやテスト最終日等に服装・頭髪検査を行う。遅刻防止の対策として、遅刻カード指導を徹底し、無断遅刻者には課題を与える。生徒手帳を利用し、無断早退・無断外出を防止する。スマートフォン・携帯電話の使用に関して、LHRや集会で注意を促し、マナーの向上を図る。 |    |               |
| 生徒指導部 | 交通安全と事故の未然防止                     | 交通安全講話およびスマホ・ケータイ安全教室を実施する。毎週2回の立哨指導、月1回の校外指導、各学期ごとに自転車点検指導を実施する。必要に応じて校内巡視を実施し、生徒の日常生活に目を配る。   |    |               |
|       | 心の教育の充実(いじめの防止)                  | 生徒会と連携し、本校生としてのプライドと自覚の醸成に努める。全校ボランティア活動等を通じて、他人を思いやり、命を大切にする気持ちをはぐくむ。生徒理解のための情報交換を密にする。教師からの声掛けを励行し、トラブル、いじめの未然防止に努める。スクールカウンセラーとの連携により、生徒理解と適切な対応に努める。                                  |    |               |

| 評価項目               | 具体的目標                               | 具体的方策                                 | 評価 | 次年度(学期)への主な課題 |
|--------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|----|---------------|
| 特別活動部              | 心の教育を重視したHR活動                       | ねらいに沿った綿密な計画の作成と時間の確保を図る。             |    |               |
|                    |                                     | 生徒同士が真剣に語り合えるようなクラスの雰囲気づくりを図る。        |    |               |
|                    | 活力を生む学校行事                           | 生徒に感動を与える行事づくりを企画する。                  |    |               |
|                    |                                     | 生徒の自主的な企画を尊重して、積極的な参加につなげる。           |    |               |
|                    | 生徒会活動の推進                            | 特色ある学校づくり推進事業との連携を図り、各種活動に積極的に参加させる。  |    |               |
|                    |                                     | 企画と準備を綿密に行い、各活動の達成度を向上させる。            |    |               |
|                    |                                     | 達成感が得られるような支援体制づくりを図る。                |    |               |
| 部活動の活性化            | 年度当初の新入生への部活動紹介を工夫し、加入率の向上を図る。      |                                       |    |               |
|                    | 部活動顧問会議、部活動運営委員会等を通して、円滑な活動を推進する。   |                                       |    |               |
| 施設の有効利用            | コスモホール、多目的ホール、トレーニング室の積極的な活用を図る。    |                                       |    |               |
| 保健厚生部              | 健康教育の充実                             | 保健委員会の指導と生徒への健康相談及び健康教育(講演会含む)を充実させる。 |    |               |
|                    | 防災意識を高め災害を想定した避難誘導                  | 全職員を役割分担し、迅速な避難誘導ができる葉にする。            |    |               |
|                    | 学校の生活環境の整備                          | 整備委員会の指導と安全点検等を行い学校環境を整備する。           |    |               |
|                    | 奨学金業務の円滑化                           | 迅速な情報提供と応募生徒の指導を行う。                   |    |               |
| 図書部                | 授業・部活動・HR活動に必要な資料、図書の整備・充実とその積極的な活用 | 希望図書・教科関連図書・学習参考書・視聴覚資料を選定し、購入する。     |    |               |
|                    |                                     | 各教科・HR担任・進路担当との連携を図る。                 |    |               |
|                    |                                     | ブックトーク・ビブリオバトル・朗読講座を企画し、実施する。         |    |               |
|                    | 図書館充実のためのサービス向上                     | 適正・迅速な購入、レファレンスサービスを推進する。             |    |               |
|                    | 学習並びに進路決定のための資料を提供する。               |                                       |    |               |
| 図書委員会・視聴覚委員会活動の充実  | 例会の充実、広報活動の推進、読書会の充実を図る。            |                                       |    |               |
| 視聴覚機器の授業等に対応した環境整備 | 各種研修会・ボランティアに参加する。                  |                                       |    |               |
|                    | 授業・行事等に対応した環境整備に努める。                |                                       |    |               |
| 渉外部                | PTA活動の活発化                           | 視聴覚機器の整備に取り組む。                        |    |               |
|                    |                                     | 総会の出席率向上を目指す。目標は出席率30%以上。             |    |               |
|                    |                                     | 各学年・各専門委員会活動の活性化を図る。                  |    |               |
|                    | PTAふれあい講座(年3回)の内容の充実、及び参加率の向上を目指す。  |                                       |    |               |
| 同窓会との連携            | 定期的な情報交換を実施する。                      |                                       |    |               |

| 評価項目    | 具体的目標  | 具体的方策   | 評価 | 次年度(学期)への主な課題 |
|---------|--|---|----|---------------|
| 第1学年    | 基本的生活習慣の確立   | S HRによる指導や定期的に行う服装・頭髪指導等により、きちんとした服装・頭髪と規律ある生活をさせる。   |    |               |
|         |  | 立哨指導や集会時の指導等を通して、挨拶の励行、規範意識の確立と基本的マナーを身に付けさせる。  |    |               |
|         |  | 積極的に家庭との連絡をとることにより、欠席、遅刻早退等の保護者からの連絡を徹底させる。   |    |               |
|         |  | 清掃を徹底させ、学習環境の整理整頓に努めさせる。  |    |               |
|         | 基礎学力の向上  | 各教科や生徒指導部との連携を図ってベル着を守らせ、日常の授業に集中して取り組ませる。<br>朝のドリルに取り組むことにより、学習の習慣化を図る。<br>進路指導部と連携し、進路意識を早期に確立させ、その実現に向けて努力させる。<br>課外、希望模試、学習セミナーへの積極的参加を奨励する。  |    |               |
| 生徒指導の充実 | 面接等を通して、学校生活へのスムーズな適応を助言、指導する。<br>心身面で問題を抱える生徒に対して、教師間及び家庭との連絡を密にして対応していく。 |   |    |               |
| 特別活動の充実 | 部活動、委員会、生徒会、HR活動等に積極的に参加させ、幅広い活動を体験させる。                                    |   |    |               |
| 第2学年    | 基本的生活習慣の確立   | 基本的生活習慣を確立することにより、生活全般の自己管理能力を育成する。<br>家庭との連絡を密にするとともに、欠席・遅刻・早退等の保護者からの連絡を徹底させ、規律ある生活をさせる。<br>チャイム着席を徹底させ、授業に集中できる環境作りにつとめる。  |    |               |
|         |  | 学力の定着と向上  |    |               |
|         | 進路指導の充実  | 小論文模試・ガイダンスの実施により、進路実現へ向けての文章表現力を養成する。また、目的や問題意識を持って生活することにより、自ら考え判断し行動できる力を養う。<br>進路ガイダンスや大学の模擬授業、大学見学会等の進路行事を通して進路意識の高揚をはかり、次年度の進路選択の準備を早期に進める。また、オープンキャンパス、外部進路説明会等へも積極的に参加させる。<br>個別面談を通し生徒個々の適性や能力等を把握し、進路意識を高め進路実現に向けて継続的な指導をする。<br>成績上位者・国公立大学への個別指導を展開し、進学希望者の意識を高揚させ、進路目標達成を目指す。 |    |               |
|         | 生徒指導の充実  | S HRや立哨指導、服装・頭髪指導を継続的にを行い、正しい服装・頭髪や基本的マナーを定着させ、高校生らしい爽やかな生活態度を育成する。<br>清掃の徹底を通して、学習環境の整理整頓を図るとともに、勤労意欲の向上を図る。<br>心身面で問題を抱える生徒に対して、教師間及び家庭と情報を共有しながらスクールカウンセラー及び専門機関と協力して適切な支援を行う。   |    |               |
|         | 特別活動への積極的参加  | 部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動に積極的に取り組ませる。<br>特別活動を通して、より良い人間関係を築くコミュニケーション能力と豊かな心を育てる。  |    |               |
| 第3学年    | 生徒指導の充実  | 進路希望実現を念頭に置いた生徒指導につとめる。<br>継続した指導により基本的生活習慣を確立させ、正しい服装や挨拶などの基本的マナーを身に付けさせる。<br>清掃等を徹底させ、学習環境の整理整頓につとめる。   |    |               |
|         | 学力の向上  | 各教科との連携を深め、ベル着等を徹底させ、授業に集中できる環境づくりにつとめる。<br>課外や学習セミナー等へ積極的に参加させ、推薦・一般入試に対応できる学力を身に付けさせる。<br>英検・漢検等の資格取得を促す。<br>ICTおよびアクティブラーニングの実践と研究を更に進める。  |    |               |
|         | 進路希望の実現  | 面接やガイダンスなどを通して、進路希望実現のための小論文・面接等の助言・指導を徹底して行う。<br>オープンキャンパス・進路相談会等への積極的な参加を促す。  |    |               |
|         |  | ガイダンス・集会・面談などを通して、国公立大学進学希望者への推薦・一般入試に対応できる指導を徹底して行う。   |    |               |
|         | 特別活動への積極的参加  | 部活動・生徒会・委員会・ボランティア活動等に積極的に参加させる。  |    |               |

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない